

福井市学校版環境ISO 実施計画書

福井市長 様

私たちの学校は、恵み豊かな環境を守り未来に引き継いでいくために、環境保全に関する学習、教育及び活動を積極的に行って環境にやさしい学校づくりと生命や自然の大切さを理解し郷土を愛するモラルの高い児童生徒の育成に取り組むための実施計画を作成しましたので、福井市学校版環境ISO認定制度による認定の更新を申し込みます。

令和3年5月31日

学校名 福井市至民中学校

校長氏名 小林 真由美

1 今年度の目標(学校の約束)

- ① 資源の有限性について学習し、ものを大切にする心・エコロジー意識を養います。
- ② 校内の花壇やプランターに植物を植え、緑化に努めます。
- ③ 地域と連携し、清掃美化活動や保全活動に努めます。

2 取組内容

- ① ものを大切にする心・エコロジー意識の育成
 - ・全教科を通して、資源の有限性についての学習をし、ものを大切にする心を身につけます。
 - ・学校全体で、ごみの分別を徹底させ、減量化に努めます。
 - ・環境委員が中心となって、エコ啓発活動を行い、学校全体のエコロジー意識を高めます。
- ② 環境学習
 - ・校舎敷地内の美化活動を通して、生命や自然の大切さを学びます。
 - ・校外学習を通し、地域の自然環境について学ぶ環境教育を推進します。
- ③ 地域と連携した環境保全活動
 - ・学校の取り組みを家庭と共有し、環境への意識を高めます。

★ ESDポイント(取組内容の内、1項目についてESDの視点をどのように取り入れるかを記載してください。)

- ①について、環境委員が中心となって、学校の現状から「自分たちができるエコ活動」について考え、全校生徒で実践することにより、地域・学校の一員としての所属感を高める。(協力・主体性)

福井市学校版環境ISO 実施報告書

学校名 至民中学校	
1 今年度の目標（学校の約束） ①資源の有限性について学習し、ものを大切にする心・エコロジー意識を養います。 ②校内の花壇やプランターに植物を植え、緑化に努めます。 ③地域と連携し、清掃美化活動や保全活動に努めます。 2 取組内容 ① エコロジー意識の育成 ・道徳、総合的な学習の時間を中心に教科を通して、資源の有限性についての学習をしました。特に今年度は1年生が、地域の特色を調査し、残っている自然の素晴らしさやこれらを維持していくことの大切さを感じ、地域CMに生かすことができました。 ・環境委員が中心となって、ごみの分別の分別が正しく行われているのか、どのようなごみが多いのかを調査し、各クラスで呼びかけ、エコ啓発活動を行いました。 ・リサイクルボックスを各教室に設置したり、給食のごみ入れに不要になったプリントを再利用したりして、不要になったものを有効活用することを心がけています。 ② 環境学習 ・理科教員を中心に、花壇に、ひまわりや野菜を育て、生命や自然の大切さを学びました。また、今年度は科学部でも植物を育て、緑化に努めることができました。 ・1年生が田植え体験や地域の素晴らしさを発見する校外活動を行いました。普段見ている自然が、誰かの努力によって維持されていること、それが地域の素晴らしさになっていることを学ぶことができました。 ③地域と連携した資源回収 ・5月と11月に資源回収を行いました。地域の方と協力し、コロナの影響がある中でも、工夫して実施することができました。	
★ ESDポイント（取組内容の内、1項目についてESDの視点を取り入れたポイントを記載して下さい。） ②について、地域の自慢や自然などを調べる活動を通して、地域の未来やこれからについて考え、持続可能な生活について創造することができました。（未来性）	



3 見直し	【具体的効果】 ①環境委員が定期的にごみを調査することにより、分別するという意識が高まりました。 ②地域の伝統や自然などに目を向けるようになり、今まで以上に地域への愛着が生まれ、自然を大切にしようとする心が育ってきています。
	【改善点】 ・地域の方や保護者にも、学校での取り組みを広め、地域の環境に対する意識を高めていきたいです。 ・生徒が自主的に進めることができる活動を取り入れていきたいです。